

今年の甲子園、「エンジョイベースボール」をスローガンとしている慶應義塾高校が優勝しました。甲子園で優勝する為のイメージは、厳しい練習に耐えての野球漬けの毎日、当然監督は絶対的存在で、監督の指示通りに従うことが勝利へ繋がるという考え。でもそうやってつかんだ勝利は生徒の勝利なのではないでしょうか。

思い出されるのは31年前、星陵と明德義塾の試合。4番打者の松井秀喜を5打席連続で敬遠して明德義塾が3対2で勝利を手にしたのですが、明德のピッチャー河野投手の思いはどうだったんだろうと思います。ゴジラと言われた高校生最強のスラッガーに対して自分の投球が通用するのか、1球くらいストライクが取れたのか、それともホームランを打たれてしまったのか。とにかく、あの松井と勝負したかったでありますように。あの松井と甲子園という舞台で勝負できることがどんなに幸せなことかは、後になって気付くのでしょうか。一方、勝敗にこだわる前に野球を楽しめという慶應野球。生徒の自主性を重んじ、監督と生徒の関係も上下関係でなく、監督は生徒の能力を引き出す為のサポート役という感じ。これで高校野球も良い方向に変わっていったのではないのでしょうか。とにかく私は威張っている大人が嫌いなのであります。

スポーツ界もどんどん良い方向に変わっているのですから、教育も良い方向に変わっていける気がします。授業は学ぶことが楽しいと感じられるものとなり、宿題も生徒の自主性を引き出せるものへ。数学は、考えることが楽しいと思えることが大切であります。それには決して焦らないことが大事だと思います。そういえば今年の1年生、大富豪をすればキャッキョと盛り上がりたり、授業中私が黒板に向かって説明している間に少しずつ机をずらしたりと、夏目漱石の坊っちゃんに出てくる生徒かと言いたいくらいイタズラ好きなのですが、勉強に対しても積極的な生徒が多いと感じます。何事にも活力がある生徒は、勉強にも活力があるものですね。

「子曰く、之れを知る者は之れを好む者に如かず
之れを好む者は、之れを楽しむ者に如かず」

「孔子が言った、ある物事について、それを単に知っている者はそれを好む者に及ばない。
しかし、それを好む者だって、その物事を楽しむ者には及ばないのだ。」

8月号テスト結果

(偏差値55以上)

小5 偏差値50以上1名

	国	算	理	社	計	偏
1	82	55	75	84	296	56

小6 偏差値50以上1名

	国	算	理	社	計	偏
1	72	62	83	86	303	55

中1 偏差値50以上5名

	英	数	国	理	社	計	偏
1	97	92	90	91	85	455	65
2	86	88	72	92	91	429	63
3	91	88	78	60	80	397	59
4	69	92	64	83	68	376	57

中2 偏差値50以上7名

	英	数	国	理	社	計	偏
1	62	76	88	69	53	348	59
2	59	76	62	69	60	326	56

中3 偏差値50以上5名

	英	数	国	理	社	計	偏
1	84	77	85	81	76	403	66
2	76	76	86	84	75	397	65

連絡事項

10月9日(月) 祝日にて休塾

【英語検定】 検定日 10月 8日(日)

【漢字検定】 検定日 10月28日(土)

【数学検定】 **申し込み締め切り日 10月10日(火)**

検定日 11月18日(土) ※締め切りを過ぎた申し込みは受付できません

